



第76回

作文コンクール

全国小・中学校

応募要項

全国小・中学校作文コンクールは、1951年に創設された歴史あるコンクールです。教科書に掲載されたり、ドラマや映画になったりする作品も数多く生まれています。

応募規定

「応募資格」

国内の小・中学校および海外の日本人学校に在学する児童・生徒

「テーマ」

テーマは自由。ふだんの生活や学校で感じたこと、体験したこと、創作物、読書感想文など広く募集します。

「部門および枚数制限」

400字詰め原稿用紙 (B4サイズ推奨) でご提出ください。

小学校低学年の部：10枚以内(表紙を除く)

小学校高学年の部：20枚以内(表紙を除く)

中学校の部：30枚以内(表紙を除く)

「審査」

都道府県審査を行い、各部門で最も優れた作品が中央審査に進みます。

《中央審査委員》(敬称略、予定)

梯久美子(ノンフィクション作家)

石崎洋司(児童文学作家)

山口茂(元東京都中学校長会会長)



注意事項

- 応募は1人1編に限ります。 ● 絵・写真などを使用した作品は認めません。 ● 生成AIを利用して作成した作品は応募できません。
- 応募作品は返却しませんので、事前にコピーしてお手元に保管してください。
- 鉛筆(Bまたは2B)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の自筆に限ります。障害などが理由で、応募登録や審査に不安がある人は作文コンクール事務局(03-3216-8598)にご連絡ください。
- 応募作品は自作の未発表作品に限ります。二重応募(類似作品を含む)は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 入賞・入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は読売新聞で紹介するほか、主催者、協賛社のホームページで紹介、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、電子書籍、教材や国内外の出版物などに使用されることがあります。
- 募集テーマは自由です。ただし入賞作品にプライバシーへの配慮が必要な内容が含まれる場合には、紙面、優秀作品集への掲載を控える場合があります。

※ 記載いただいた個人情報は受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表および賞状などの送付、また読売新聞社主催の関連イベントの案内などで使用します。

自由な発想で
書いてみよう!

締め切り
2026年
9/14日
必着

「表彰」

小学校低学年・同高学年・中学校の各部門入賞者に、賞状、トロフィー、副賞(三菱鉛筆色鉛筆・POSCA・図書カード)を贈呈します。各賞の副賞は以下の通り。

- 文部科学大臣賞(1編)：図書カード1万円分
- 読売新聞社賞(3編)：図書カード5千円分
- JR賞(1編)：図書カード5千円分
- 日本テレビ放送網賞(1編)：図書カード5千円分
- 光村印刷賞(1編)：図書カード5千円分
- 入選(3編)：図書カード3千円分
- 学校賞：QUOカード3万円分



副賞の三菱鉛筆色鉛筆 toirono<24色セット> POSCAナチュラルカラー7色セット

「発表」

都道府県審査の結果は、2026年11月頃に読売新聞地域版で発表予定です。また2027年1月に中央審査の結果(受賞者全員の氏名と受賞作品の一部)を全国版に掲載します。

中央表彰式は2027年2月27日に東京都内で実施予定です。

「優秀作品集」

入賞作品は「優秀作品集」として出版されます。

第75回の入賞作品と都道府県入選者名を掲載した優秀作品集は、通販サイト「美術展ナビ図録・グッズSHOP」(<https://aej.store.yomiuri.co.jp>)から購入できます。

第76回の優秀作品集は2027年3月に発刊予定です。



応募方法

ホームページから 応募登録が必要です。

<https://jigyuu.yomiuri.co.jp/sakubun/>



ホームページは右記QRコードからアクセス。

または 読売 作文コンクール 検索

※インターネット環境(PC・Wifi・プリンター等)がない場合や応募登録がうまくいかない場合は、登録専用ダイヤル(050-1725-2011)か sakubun.jimukyoku@gmail.com にご連絡ください。

※作文コンクール全体に関するお問い合わせは、作文コンクール事務局(03-3216-8598)にご連絡ください。

ご登録いただいた、作品タイトル、名前、学校・学年、指導教諭名は、受賞者発表時にそのまま掲載します。正確にご登録ください。

1. 400字詰め原稿用紙(B4)を使用してください。
2. 作品を書き上げた後、ホームページにアクセスして、保護者とともに、必要情報を登録してください。
保護者のメールアドレス(ID)でアカウントを作成し、下記を登録。
 - 連絡先情報
 - 学校(名称、住所、電話番号)
 - 作品タイトル※1つのメールアドレス(ID)で、兄弟姉妹の応募登録も可能です。
3. 応募登録が完了したら、個別の作品番号が発行された応募票を印刷して原稿用紙の表紙にのり付けしてください。
4. 作品と合わせて右上端をホチキスで留めてください。
応募票に必要事項の記入漏れがないかご確認ください。
※個人応募の場合も、学校を通じてご連絡しますので、応募票に学校応募窓口が記載されているかご確認ください。
5. 応募票を表紙に添付した作品を、学校が所在する都道府県別の応募先へ2026年9月14日(月)必着でお送りください。
都道府県別の応募先へ送付の際は、封筒の宛名に「作文コンクール係」と明記して送付してください。

よくあるご質問

応募方法で不明な点がありましたら、ホームページの「よくあるご質問」をご覧ください。
マイページの開設や応募情報の入力方法、学校による一括応募の仕方など、より詳細な説明を掲載しています。



【作品応募方法】

- 原稿用紙表紙に、応募票をはがれないようのり付けする。
 - 応募票をのり付けした原稿用紙表紙と作品を合わせて右上端をホチキスで留める。
- ※作品は2枚目から始めて、枚数を数える際も、2枚目から数えてください。
- ※作品は返却できませんので、応募票を含めコピーを取り、お手元に保管してください。

表紙

右上隅にホチキス

2枚目から始めてください

応募票を貼り付ける

都道府県別 作文応募先

北海道・東北	北海道	読売新聞 北海道支社 総務部
	青森県	読売新聞 青森支局
	岩手県	読売新聞 盛岡支局
	宮城県	読売新聞 東北総局
	秋田県	読売新聞 秋田支局
	山形県	読売新聞 山形支局
	福島県	読売新聞 福島支局
関東	茨城県	読売新聞 水戸支局
	栃木県	読売新聞 宇都宮支局
	群馬県	読売新聞 前橋支局
	埼玉県	読売新聞 さいたま支局
	千葉県	読売新聞 千葉支局
	東京都	作文コンクール東京都 事務局
	神奈川県	読売新聞 横浜支局
中部	新潟県	読売新聞 新潟支局
	富山県	読売新聞 富山支局
	石川県	読売新聞 金沢支局
	福井県	読売新聞 福井支局
	山梨県	読売新聞 甲府支局
	長野県	読売新聞 長野支局
	岐阜県	読売新聞 岐阜支局
近畿	静岡県	読売新聞 静岡支局
	愛知県	読売新聞 中部支社
	三重県	読売新聞 津支局
	滋賀県	読売新聞 大津支局
	京都府	読売新聞 京都総局
	大阪府	読売新聞 大阪本社 次世代開発部
	兵庫県	読売新聞 神戸総局
中国・四国	奈良県	読売新聞 奈良支局
	和歌山県	読売新聞 和歌山支局
	海外	作文コンクール海外 事務局
	鳥取県	読売新聞 鳥取支局
	島根県	読売新聞 松江支局
	岡山県	読売新聞 岡山支局
	広島県	読売新聞 広島総局
九州	山口県	読売新聞 山口総局
	徳島県	読売新聞 徳島支局
	香川県	読売新聞 高松総局
	愛媛県	読売新聞 松山支局
	高知県	読売新聞 高知支局
	福岡県	読売新聞 西部本社 事業推進室事業部
	佐賀県	読売新聞 佐賀支局
九州	長崎県	読売新聞 長崎支局
	熊本県	読売新聞 熊本支局
	大分県	読売新聞 大分支局
	宮崎県	読売新聞 宮崎支局
	鹿児島県	読売新聞 鹿児島支局
九州	沖縄県	読売新聞 那覇支局

※応募先の住所や電話番号は、作文コンクールホームページをご覧ください。

※学校が所在する都道府県に応募してください。

読売 作文コンクール 検索

海外から応募される場合は、ホームページ上での作品送付(PDF添付)も可能です。